

各位

病虫害防除所長

病虫害発生予察技術情報第12号(果樹カメムシ類)について

本年9月の果樹カメムシ類のフェロモントラップへの誘殺数は前年比ではほぼ前年並で、平年比では少なく推移しています(第1表)。9月に入っての実際の果樹(カキ)への被害もそれほど多くなっていません(第1図)。

しかし、今春のスギ・ヒノキ花粉飛散量は前年比では80%とやや少ないのですが、平年比では146%と多く(第2表)、果樹カメムシ類の餌であるスギ、ヒノキ果実も多くなっているものと思われます。したがって、果樹カメムシ類の山林等での発生密度は高いものと推測され、街灯や自販機等、灯火への飛来が目立っています。

今後、気温の低下、餌として利用可能なスギ、ヒノキ果実の減少などで、樹園地への飛来が活発となり、カンキツ、カキ等の果実での被害が発生する恐れがありますので、果樹園での発生に留意してください。

月別や年次別変動、各地域別、その他具体的な数値や生態等については防除所の下記ホームページをご参照ください。

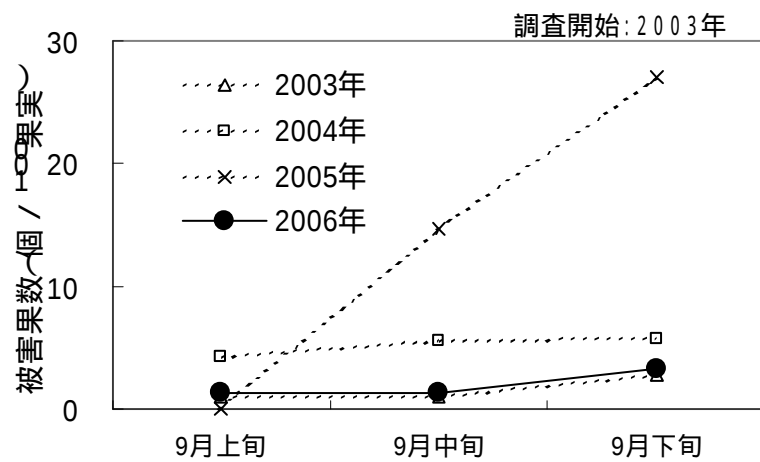
<http://www.nogyo.tosa.net-kochi.gr.jp/byoki/boujoshou/sokuho/kazyukame/kazyukame.htm>

第1表: 果樹カメムシ類、9月のフェロモントラップ誘殺数

	県東部	中央部	中西部	西部	県下合計 (平年比, 前年比)
2006年	60	86	37	150	333 (57%, 115%)
2005年	17	125	59	88	289
2004年	16	44	55	362	477
平年	103	95	171	212	581

2000～2005年、6カ年平均

第1図: カキ果実のカメムシ類による吸汁被害果数の推移



第2表: 1日当たり花粉飛散量(1～5月平均)

	県東部	中央部	中西部	西部	県下合計 (平年比,前年比)
2006年	40	58	52	35	185 (146%,80%)
2005年	36	78	67	51	232
2004年	7	16	13	13	49
平年	24	46	36	21	127

1991～2005年、15カ年平均